



令和5年2月20日

報道関係 各位

名古屋市立大学病院

担当：中央放射線部技師長 笠井 治昌

電話：052-851-5511(内線：3067)

フォトンカウンティング検出器搭載2管球CT「NAEOTOM Alpha」を 中部地域で初めて導入（全国で6施設目）

名古屋市立大学病院では、このたびフォトンカウンティング検出器搭載2管球CT「NAEOTOM Alpha(ネオトム アルファ)」を2月28日(火)から運用開始することといたしました。

その導入に先立ち、2月28日(火)18時00分よりマスコミ関係者の方々に向けた内覧会を実施いたしますので、是非、取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

記

1. 導入する画像診断装置の概要

(1)機器の名称

フォトンカウンティング検出器搭載2管球CT
「NAEOTOM Alpha(ネオトム アルファ)」
Siemens Healthineers 社製

(2)主な特徴

- 低被ばく
- 超高分解能
- 精度の高いスペクトラルイメージング
- 2管球システムによる高い時間分解能



NAEOTOM Alpha (ネオトム アルファ)

NAEOTOM Alpha の新しい検出器による検査は、テレビ放送がアナログ放送からデジタル放送に変わったかのように、鮮明で情報の多いCT画像を臨床医・患者さんへと届けることが期待できます。CT装置の精度があがり、被ばく低減や無駄な追加検査を防ぐことで診療時間の短縮による患者さんへの負担軽減や救急医療現場における効率化など、様々なメリットが期待されます。

(3)これまでの X 線 CT 装置との違い

フォトンカウンティング検出器は、従来の検出器のように X 線光子を可視光に変換するのではなく、各 X 線光子とそのエネルギーレベルを直接検出するため、より少ない放射線量で高解像かつ有用なデータを提供することが可能となります。また、被ばくを抑えることができるため、患者さんや検査を受ける方の負担を減らしつつ正確でスペクトラルイメージングによる包括的な検査が可能となります。そのためすべての診療科において診断の向上が期待されます。少なくとも今後 10 年間は世界最高の画像診断装置としての活躍が期待されます。

2. 内覧会のお知らせ

(1)日時

令和 5 年 2 月 28 日(火)
18 時から 19 時頃(1 時間程度)

(2)場所

病棟・中央診療棟 2 階 中央放射線部 CT 検査室

(3)説明担当者

| 役職名 | 氏名 | 職種 |
|--|-------|---------|
| 放射線治療科 部長(教授) 放射線診断・IVR 科 部長(教授) 中央放射線部 部長 | 樋渡 昭雄 | 医師 |
| 中央放射線部 (助教) | 太田 賢吾 | 医師 |
| 中央放射線部 技師長 | 笠井 治昌 | 診療放射線技師 |

(4)参加申し込み方法

下記申し込み先まで、E-Mail または FAX にてご連絡ください。
その際、下記の項目についてお伝えください。

- ・会社名
- ・取材人数
- ・取材希望時間
- ・連絡先

【申し込み先】

名古屋市立大学病院 経営課経営係 担当:西岡、土井
TEL:052-858-7113 FAX:052-858-7537
E-Mail : hpkouhou@sec.nagoya-cu.ac.jp

以上